

VOICE

池田ともりのり



まちのバリアフリー対策について

Q 世界最大の本のまち、神保町周辺のバリアフリー対策について。

A エレベーターが再開発の機会に設置されたのに続き、専大前交差点付近にも整備され、バリアフリー対応が進んでいる。今後も継続的に働きかけていきたい。

公衆トイレの整備について

Q これまでの30カ所から有料トイレを含む20カ所に適正配置がされた区内の公衆トイレは、案内表示、清掃時間等を見直し、清潔で快適な空間の維持管理について改善が必要ではないか。障がいのある方の立場からも整備をするべきではないか。



A 公衆トイレはまちの文化度を示すという思いもあるので、精力的にユニバーサル化を含め、民間の協力を得ながら対応していきたい。

内田直之



環境未来都市構想について

Q 千代田区の特性や役割を考えた場合、環境に加え、経済、社会の3つの価値を創造し、持続可能な社会の実現を目指すべきと考える。

A 環境、経済、社会の価値を創造するという考え方は、環境政策の理念と軸を一にする。持続可能な都市の実現に向けて対策を進めていく。

(仮称)ちよだエコセンターの整備を推進すべき

Q 環境活動拠点の集約化と環境メッセージの発信という重要な役割を担うエコセンターは、計画通りZEBにて整備すべきである。

A 現在基本構想を整理中である。ZEBモデル施設を整備する考えであるが、現実的な対応も視野に入れ検討していく。

路上障害物の対策の現状と対策について

Q 悪質な路上障害物や青少年の健全育成上、問題と思われる看板を撤去できるよう、施策の再構築が必要である。エリアマネジメントにおける、路上障害物対策の連携、推進を提案する。

A 区としては、庁内関係各課が緊密に連携し、警察、地域の団体等と共に、実効性のある対策に取り組む。エリアマネジメントの中でどのように位置づけられるか早急に検討する。

TOPICS 1 予算・決算特別委員会報告

平成27年度千代田区各会計歳入歳出決算の認定については、先の第3回定例会で当委員会に付託されましたが、「千代田会館10階改修工事」や「かがやきプラザ和紙アートの取得」について大いに疑義があるため、継続審査となったものであります。その際、この件を調査するため「監査請求に関する決議」を議決しました。

本定例会中に監査委員より監査報告が提出され、当委員会では、報告内容に対する質疑を中心に徹底的に議論を行いました。

執行機関からは、今回の件については、大いに反省している。今後は区の財産を活用する際は事前に区議会へ十分説明し理解を得ることや、文化芸術作品の取得にあたっては、客観性や透明性を高めていく等の答弁がありました。その後採決を行い、賛成多数により認定すべきものと決定しました。

TOPICS 2 自民党議員団 視察報告

(鹿児島県南九州市・熊本県)

今年度より千代田区平和使節団の訪問先に組み込まれた「知覧特攻平和館」を沖縄使節団と同じ足取りで調査、検証を行いました。使節団同様に語り部の話を聞いた際、亡くなった特攻隊の中に千代田区に本籍のある隊員がいたことに驚きました。また、昨年震度7の巨大地震が2度発生した熊本県へ、特に被害の大きい熊本城、阿蘇大橋、益城町避難所を視察しました。熊本城の復旧計画や配慮(工夫)された避難所のあり方など、首都直下型地震が発生した際の千代田区にも参考となる貴重な話を聞くことができました。



桜井ただし



小林やすお



戸張孝次郎



嶋崎秀彦



松本佳子



内田直之



永田壮一



新年明けまして
おめでとうございます。



幹事長
嶋崎 秀彦

昨年は熊本県で大きな地震があり、甚大な被害が発生しました。東京でも、いつ大地震が起きてもおかしくない状況の中、改めて災害から区民の財産と命を守る決意を新たに致しました。また、昨年の夏はリオデジャネイロでオリンピックがあり、日本は史上最多のメダルを取り、大いに盛り上がったのは記憶に新しいことだと思います。3年半後にせまった東京オリンピック・パラリンピックは区内で開催される競技がいくつもございますので、区民の皆さまと一緒に東京大会の成功に向けて取り組んでまいります。

さて、昨年の参議院選挙では皆さまのご支援を賜り、自民党はさらなる躍進をし、安定した政権運営をしており、感謝申し上げます。2月には千代田区長選挙がございます。議会と執行機関は車の両輪であり、両者が協力して区民の福祉向上を目指していかなければなりません。そのためにも、我々自民党議員団、一丸となって頑張っておりますので、引き続き皆さまの絶大なるご支援をお願い申し上げます。



山田丈夫



池田ともりのり



大坂隆洋

あなたの声をお聞かせください!

VOICE 千代田区自由民主党議員団 ●お電話で 03-5211-4320 ●FAXで 03-5275-6882

代表質問

永田壮一



平成27年度決算と予算執行について

Q 重要施策について議会に説明がないまま予算計上、執行されることで審議が紛糾している。議会との意思疎通をどう改善していくのか。

A 議会との共通認識が持てず残念だ。十分な論議をして、よりよい区政運営実現に取り組む。

介護保険制度について

Q 介護保険認定の審査が厳しくなると、希望するサービスが受けられない懸念がある。本区の介護予防、自立支援、独居対策、健康増進事業の実施状況を問う。

A 全国一律の判定ソフトで判定している。「シルバートレーニングスタジオ」の実施等、世代を越えた健康づくりの推進。「かがやきプラザ」では高齢者安心生活支援、独居対策事業、社会活動参加を推進している。

低未利用地の利活用について

Q 低未利用財産の多くは暫定利用で固定化している。将来の行政需要への対応というが、放置したままではないか。長期的な視野に立った活用方針を出すべきだ。

A 低未利用地の活用には意見調整等に時間がかかる。一部は認可保育所を誘致することにした。

商工振興施策について

Q スタンプ事業に代わる消費生活支援事業は可能か。商店街のカラー舗装、街灯のLED化、ガム痕除去装置を提供できないか。防犯カメラ設置は電源、保守管理といった長期にわたる負担がある。積極的な支援を求める。

A カラー舗装、LED街灯は標準的な仕様として取り組んでいく。ガム痕除去には洗浄機を貸し出す。防犯カメラ設置団体を積極的に支援していく。



桜井ただし



区民が主体的にできる美化活動について

Q 街を美しくすることは誰もが願う大切なこと。本区では生活環境条例に基づき注意・指導はしているが違法な広告物は後を絶たない。区では違法業者に対しての注意・指導と撤去は別々の担当が担っており、わかりやすく迅速に対応するには組織の見直しも含め検討が必要。違法広告物を撤去するには、活動員の対象を環境美化団体や町会、業界団体にも広げ、運用しやすくすること。また、チラシなどの違法簡易広告物に

ついては、事前に登録を済ませた個人や団体によって除去・処分までできるものとし、路上看板などについては、区が監察権を行使してしっかりと除去することが必要。

A 改めて、当初考えていたものをしっかりと立て直さなければいけない。この条例を作った基本に立ち返って対応する。職員の兼務命令や指導員の集中により、手順を再構築し、指導から撤去まで一貫した取り組みを実施する。従来からの指導・改善に撤去も前提とした取り組みを検討する。



山田丈夫



歩きスマホの対応について

Q 安全で快適な歩道空間の確保のために、歩行の障害となり事故につながりかねない「ながら歩行」改善に向けた対応を求める。

A 平成25年に発生した歩きスマホによる区内の小学生の駅ホーム転落事故を契機に、歩きスマホは危険であるという意識啓発を、鉄道事業者、道路

管理者等とポスターなどを活用し継続的に取り組んでいる。

旧和泉橋出張所の活用について

Q 和泉橋地区は、保育需要に比べ保育所が少ない状況にある。旧和泉橋出張所の活用策について、どのように考えているか。

A 旧和泉橋出張所の建物を解体し、認可保育所を誘致する方針である。

その他、子供のスマートフォン長時間使用の問題について、質問しました。

一般質問

小林やすお



高齢ドライバーの免許証返納に特典を

Q 高齢ドライバーが加害者となる交通事故が多発し、大きな社会問題となっている。高齢ドライバーの免許証返納について、区としても促進すべきと考える。自主返納者には「運転経歴証明書」が有料で発行され身分証明書の代わりになるサポート制度があるが、区としても、返納促進のため返納者への特典として、①発行手数料を区が負担 ②福祉バス「風ぐるま」の期限付き無料パスの付与などを考えられないか？

A 平成29年3月に「改正道路交通法」が施行される。国や警察の動向を見極めながら、区としても検討すべき時期にきていると思っている。



「運転経歴証明書」とは「運転経歴証明書」は過去の運転経歴を証明するものです。
・有効期限内に運転免許を返納し、その日から5年以内であれば、運転免許試験場へ申請することにより「運転経歴証明書」の交付を受けることができます。
・平成24年4月1日以後に交付された運転経歴証明書は、交付後6か月を超えても、運転免許証と同様に身分証明書として用いることができます(例 銀行口座の開設)。
引用: 警視庁ウェブサイト <http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/>

大坂隆洋



商工振興基本計画の改訂について

Q 平成29年に、「商工振興基本計画」が改訂の時期を迎える。千代田区の商工振興の方向性を決める非常に重要なものであり、より具体的なビジョンが必要である。

A 千代田区に住み、働き、集う人々にとって、地域が活性化し、賑わいが生まれる実感を持てることを目指す。また、中小企業が安定的に継続するための

支援や、区内での創業をよりしやすくする環境の整備など、強力な取り組みが必要となっていると認識している。

商工融資あっせん事業の利便性向上について

Q 起業資金融資の支援は、近隣区と比べると見劣っている。新しい事業者が育たなければ街の活力や賑わいは低下してしまう。支援のあり方について抜本的な改善が必要と考える。

A 現行の制度を見直す中で区外からも広く起業者を呼び込むための支援策が必要であると認識している。今後十分な検討を行い、具体化をしていきたい。